

英検2級面接

★ 合格のコツ

サンプル問題

面接では、パッセージ(英文)とイラストが印刷された「問題カード」が渡されます。例を見てみましょう。

Lack of Doctors and Nurses

These days, the lack of doctors and nurses is getting to be more and more serious in Japan. Because of this problem, some people cannot receive emergency medical care and even lose their lives, and many doctors and nurses are overworked and exhausted. Therefore, efforts are being made to help increase their number. For example, medical colleges are increasing the number of their students.

Your story should begin with this sentence: One day in the hospital, Mr. Yamamoto was talking with a nurse.



No. 1 パッセージについての質問

According to the passage, why are medical colleges increasing the number of their students?

解答例:(Because) they want to help increase the number of doctors and nurses.

No. 2 イラストについての質問

Now, please look at the picture and describe the situation. You have 20 seconds to prepare. Your story should begin with the sentence on the card. <20 seconds> Please begin.

解答例:One day in the hospital, Mr. Yamamoto was talking with a nurse. The nurse said to him, "Please push this button whenever you want to call me." A few hours later, Mr. Yamamoto pushed the button because he wanted to go to the bathroom. The nurse noticed the call for help. After a short time, the nurse brought a wheelchair. Another nurse helped Mr. Yamamoto into a wheelchair.

No. 3 受験者自身の意見を問う問題

Some people say that doctors give too many types of medicine to their patients. What do you think about that?

解答例:I agree. I think some kinds of medicine are unnecessary. We are paying money for something that we don't really need.

No. 4 受験者自身の意見を問う問題

Today, some schools tell their students not to bring cellphones to school. Do you think it is a good idea?

解答例:No. (と答えた場合の解答例:Why?) Students need cell phones to contact their parents after school. Teachers just need to tell the students not to use a cell phone during class.

面接の流れ

1. **入室** 受付を済ませたら控え室で待機します。「面接カード」を渡されるので、氏名・個人番号などを記入しましょう。係員に面接室前へ案内される際は、荷物をすべて持って移動します。自分の番がきたら係員の指示に従い、May I come in? などと挨拶して入室しましょう。

ポイント

受付からここまでは日本語で案内されます。ノックしたあとはドアを開け、Hello. などと挨拶して入室しましょう。

2. **「面接カード」を渡す** 面接委員とのやりとりは、すべて英語で行われます。「面接カード」を渡すよう指示されるので、Here you are. と言って差し出しましょう。

ポイント

控え室で記入した「面接カード」を、面接委員に渡します。Can I have your card, please? (あなたのカードをいただけますか)などと言われるので、Here you are. (どうぞ)と答えて差し出しましょう。

3. **着席** 面接委員の指示に従って着席します。荷物は自分の席の脇に置きましょう。

ポイント

Please sit down. (座ってください)などと着席を促されるので、Thank you. と答えて座りましょう。何も言わずに座ったり、うつむいたままでアイコンタクトを取らなかったりすると、「コミュニケーションの意欲がない」と思われてしまうので気をつけてください。手荷物は、隣に空いた椅子があればその上に、なければ自分の足元に置きましょう。

4. **氏名・級の確認、挨拶** 面接委員に名前を尋ねられます。My name is ... と明瞭に答えましょう。そのあと、2級のテストであることを確認されます。それから簡単な挨拶も交わされます。

ポイント

面接委員が What's your name, please? (あなたの名前を教えてください)などと聞いてくるので、My name is ... と答えましょう。受験級を確認する質問もされます。This is the Grade 2 test, OK? (これは2級のテストです。いいですか)などと尋ねられるので、OK. と返事をしましょう。How are you today? など、簡単な挨拶もされるので、はきはきと I'm fine. と返しましょう。

5. **「問題カード」を受け取る** パッセージとイラストが印刷された「問題カード」を、面接委員から渡されます。

ポイント

面接委員が Let's start the test. (テストを始めましょう)などと言ったら、挨拶タイムは終了です。パッセージとイラストが印刷された「問題カード」を、This is your card. (これがあなたのカードです)と渡されるので、Thank you. と答えて受け取りましょう。

6. **パッセージの黙読(20秒)** 面接委員の指示に従って、パッセージを黙読します。

ポイント

最初に課されるのは、「問題カード」に印刷されたパッセージを、20秒間で黙読することです。Please read the passage silently for 20 seconds. (20秒でパッセージを黙読してください)などと言われるので、All right. と返事をして黙読に取りかかりましょう。

英文の量は60語程度です。文の構造をじっくり考えたり、「この単語の意味、何だっけ」などと悩んだりしていると時間が足りなくなります。まずはタイトルに注目して、パッセージの大意を把握し、そのあと本文に目を通しましょう。このとき必要なのは、ピリオドやコンマの位置、For example や However などのつなぎ言葉に注意して、どこからどこまでが意味のまとまりなのかをすばやく判断することです。

7. **パッセージの音読** 面接委員の指示に従い、パッセージの音読を始めます。時間制限はありません。

ポイント

次に、パッセージの音読が求められます。Now, please read the passage aloud. (では、声に出してパッセージを読んでください)などと言われるので、OK. と返事をしてタイトルから読み始めましょう。

この音読に時間制限はありません。ですから落ち着いて、コンマやピリオドのあとにはポーズをしっかりと置きましょう。接続詞や前置詞の前、副詞(句)の前後などの、意味の区切れにもポーズを置くとナチュラルに聞こえます。抑揚をつけることも大事です。強調すべきところは強く、そうでないところは弱く音読すると、聞き取りやすく、内容が伝わりやすくなります。面接委員によく聞こえるよう、大きく明瞭な発声で読むことも大事です。たとえ知らない単語があっても、止まってしまったり、飛ばして読んだりするのはよくありません。スペルから発音を類推して堂々と読み切りましょう。

8. **パッセージについての質問(No. 1)** 音読したパッセージの内容について質問されます。「問題カード」を見ながら解答できます。

ポイント

パッセージの内容についての質問は、How を使った疑問文が多く、Why が使われることもあります。ですから面接委員が According to the passage と言ったら、続く疑問詞を注意して聞き取りましょう。

ここでうまく答えるには、コツがあります。つなぎ言葉に注目することです。How ...? と聞かれたら、パッセージ中から「方法」が述べられた箇所をさがします。by doing so や in this way、「～するために」という意味の to doなどが手がかりになります。Why ...? の形の質問をされたら、「理由」が述べられた箇所が答えになります。therefore や so に注意を払いましょう。

答えにあたる箇所を見つけたら、正しい解答文を頭の中で作成します。No.1の問いは「問題カード」を見ながら答えてよいので、パッセージを参考にしましょう。質問が「How」で始まったら: By ~ing...で答える。質問が「Why」で始まったら: Because ~ (主語を代名詞に置き換えて)で答える。

9. **No. 2の考慮時間(20秒)** No. 2では、「問題カード」に印刷されたイラストの内容を説明するよう求められます。考える時間が20秒与えられます。

ポイント

No. 2は、「問題カード」に印刷されたイラストの内容を説明するという課題です。イラストは通常、パッセージと関連のある3コマのものとなっています。「問題カード」に印刷された1文を、説明の冒頭に置くことが要件です。考えるための時間が20秒与えられます。面接委員からは、Now, please look at the picture and describe the situation. You have 20 seconds to prepare. Your story should begin with the sentence on the card. と指示されます。

まず、冒頭に読み上げるよう指定された1文にすばやく目を通し、登場人物の名前とイラストのトピックを理解しましょう。それからイラストの3コマを見て内容をつかみます。コマとコマの間には矢印型の吹き出しで、時間の経過や場所などを表す語句が書かれています。これは内容の理解に役立つだけでなく、説明する際にも使うべき表現なので特に注意を払いましょう。

考える時間は20秒なので、英文を頭の中で一字一句作文する余裕はありません。例えばサンプル問題の場合は、1コマめで One day, Mr. Yamamoto と A nurse、2コマめで A few hours later と He pushed the button, She noticed、3コマめで After a short time と She helped Mr. Yamamoto というなどと、説明の骨格を作ることに注力しましょう。

10. **イラストの展開説明(No. 2)** Please begin. と言われたら説明を始めましょう。

ポイント

ほとんどの場合、冒頭に指定される1文は過去時制の英文です。したがって説明全体も、過去時制にする必要があります。動詞は注意して過去形を使いましょう。進行中の動作を描写するときは、過去進行形にします。

分量の目安は、各コマを2文ずつで描写する程度です。第1文で、えがかれている人物の状況を説明し、第2文で人物の心理状態を説明したりせりふを引用したりすると、要点を過不足なく説明できるでしょう。コマとコマの間には矢印型の吹き出しで、時間の経過を表す表現が書かれています。2コマめ、3コマめの第1文は、この時間表現で始めるとよいでしょう。

11. **「問題カード」を裏返す** No. 1と No. 2の質問が終わったら、面接委員から、「問題カード」を裏返して机の上に置くよう指示されます。Please turn over the card and put it down. とされるので、落ち着いて従いましょう。

12. **受験者自身の意見を問う質問 (No. 3)** 「問題カード」のトピックと関連した内容の、受験者自身の意見を問う質問がされます。

ポイント

No. 3では、「問題カード」の話題と関連のある内容について、受験者自身の意見を尋ねられます。多くは、Some people say that (...という意見の人もある) などとある意見を紹介した上で、What do you think about that? と質問するパターンです。「問題カード」を見ることはできないので、面接委員の目をしっかり見ながら答えるようにしましょう。

解答のコツは、I agree. または I disagree. と、紹介された意見に対して同意するかしないかを、まずはっきりと表明することです。Some people say that の〈...〉の部分をいかして、I think that ... / I don't think ... と答えることもできます。そのあと、どうして同意／不同意なのか、その理由を2文程度で述べられるとよいでしょう。理由を1つ挙げて、それを補強する文を1つ加える、または理由を2つ挙げるなどの形式がおすすめです。

答えは、YES・NOどちらでも、まったく構いません。あなたが答えやすい方で答えてください。

13. **受験者自身の意見を問う質問 (No. 4)** 通常は、「問題カード」とは関連しない内容の質問がされます。受験者自身の意見を問う質問です。

ポイント

No. 4でも、受験者自身の意見が問われます。ただし、「問題カード」の話題とは関連が全くない内容についての質問であるケースが多いので、先入観を持たずに、集中して聞き取るようにしましょう。

通常、面接委員はまず Today, / These days, などの表現を使って、現在の社会現象を説明します。そのあと Do you think ...? と、受験者自身の意見を尋ねるのが一般的なパターンです。解答のコツは、まず Yes または No と答えて、自分の意見をはっきりさせることです。すると面接委員が Why? / Why not? または Please tell me more. と理由を聞いてくるので、2文程度で理由を述べましょう。We should / We shouldn't や would rather do (than ...)、または I've heard that ... などの表現を知っておくと便利です。

14. **「問題カード」を面接委員に返す** 面接委員から、「問題カード」を返すよう言われます。

ポイント

面接委員に This is the end of the test. などと言われたら試験終了です。May I have your card back, please? (カードを返していただけますか) などと言われるので、Here you are. と言って「問題カード」を渡しましょう。

15. **退室** 挨拶をして退室します。退室後は他の受験者と話したり、控え室に戻ったりすることはできません。

ポイント

面接委員に You may go now. (行っていいですよ) と言われたら、Thank you. Goodbye. などと挨拶して退室します。

退室時は、忘れ物をしないよう注意しましょう。退室後は、他の受験者と話をしたり、控え室に戻ったりすることはできません。

アティチュード

英検3級の二次試験では、アティチュード(態度・姿勢)も評価対象となっています。具体的にいうと、発声の明瞭さや反応の自然さ、積極性なども採点されるという意味です。ですから、積極的にコミュニケーションしようとする姿勢を見せ、相手に聞き取りやすいよう、大きな声ではきはきと話しましょう。入室から退室までの態度のすべてが評価されるので、無言で勝手に席に着いたり、目も見ずボソボソ答えたりなどはしないよう気をつけましょう。質問をされたら、「完璧に答えなくては！」と悩んで不自然な間をあけるより、Well, ... などと言って会話をつなぐ方が好印象です。

いちばんいけないのは、黙ってしまうことです。英語を話すスキルは未熟でも、知っている単語や文法を活用して自分の意志を伝えようとする姿勢があれば、アティチュードの評価はプラスになります。文法などでミスをしたとしても、明快地に Excuse me. と行って仕切りなおせば大丈夫です。とにかく避けたいのは、「失敗した...」と諦めて投げやりになったり、発音の悪さや苦手意識をごまかそうとしてモゴモゴと不明瞭にしゃべったりすることです。

シチュエーション別

★ Pardon? (何ですって?)

面接委員の言ったことが聞き取れなかった場合は、聞き返しても大丈夫です。Pardon? や Pardon me? と行って、もう一度言ってもらうようにしましょう。Excuse me? や Sorry? という手もあります。これらの表現は、相手の発話のすぐあとで使うべき表現なので、聞き取れなかった場合はすぐにこう言うようにしましょう。間が空いてから Pardon? では不自然に聞こえ、減点の対象になります。

また、度が過ぎる聞き返しはNGです。反応が不自然だということでアティチュードに響きますし、「この受験者はリスニング力が低いのだ」と判断されて、次の質問へ進められてしまうかもしれません。

★ Well... (ええと...)

ちょっと考えてから答えたいときは、Well, ... と行って考え中であることを伝えましょう。Let's see. や Let me see. など使えます。Hmm. と言ったり、質問中のキーワードをゆっくり繰り返したりするという手もあります。無言で考え込むことだけは避けましょう。「聞き取れないのだな」と誤解され、最悪の場合、次の質問へ進められてしまいます。

★ Could you say that again? (もう一度言っていただけますか?)

面接委員の言ったことが聞き取れなかった場合は、聞き返しても大丈夫です。Pardon? や Pardon me? と行って、もう一度言ってもらうようにしましょう。Excuse me? や Sorry? という手もあります。これらの表現は、相手の発話のすぐあとで使うべき表現なので、聞き取れなかった場合はすぐにこう言うようにしましょう。間が空いてから Pardon? では不自然に聞こえ、減点の対象になります。

また、度が過ぎる聞き返しはNGです。反応が不自然だということでアティチュードに響きますし、「この受験者はリスニング力が低いのだ」と判断されて、次の質問へ進められてしまうかもしれません。

QRコードを読み取ると、英検2級の動画が見られます。

